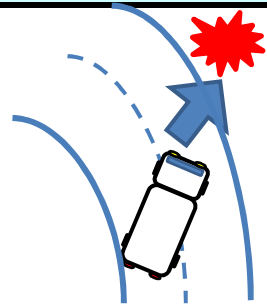
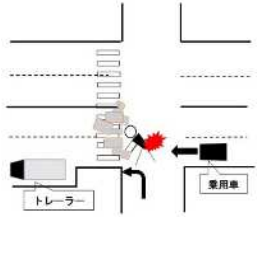
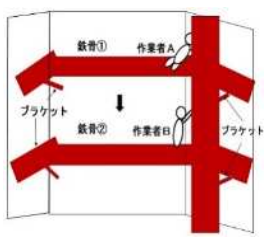
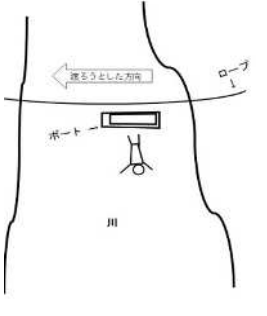
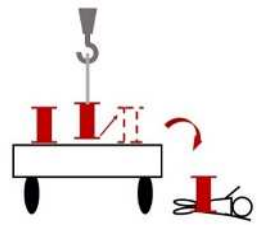


# 令和6年の死亡災害発生状況(速報)

令和6年9月30日現在

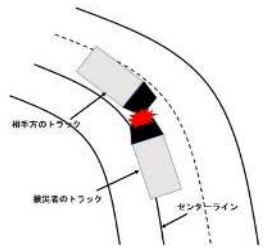
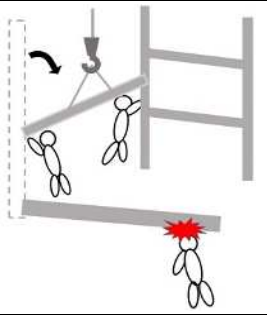

事故の型： 飛来、落下3人、交通事故(道路) 3人、崩壊、倒壊1人、交通事故(その他)1人

番号	発生日	業種	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図 (同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	事故の型	起因物
1	2月	一般貨物自動車運送業	男性	貨物自動車運転者	40代	<p>飼料運搬車にて荷先に飼料を運搬する途中、県道のガードレールを突き破って、約5メートル下に転落した。路面凍結により、左カーブを曲がり切れなかったものと推定される。</p> <p><b>同種災害を防止するための対策例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>路面状況に応じた運転をすること。</li> <li>冬季の深夜から早朝の時間帯にかかる運行は、路面凍結を念頭に置いて運行計画を作成し、運転者に周知すること。</li> </ul>		交通事故(道路)	トラック
2	2月	一般貨物自動車運送業	男性	貨物自動車運転者	50代	<p>トレーラーに鋼板を積んで運搬中、信号交差点を左折した際に、積み荷の鋼板が交差点内に落下した。被災者(運転者)はトレーラーを交差点の先にハザードを点滅させて駐車し、交差点内に散乱した鋼板を拾い集める作業を行っていたところ、後方から来た乗用車にひかれた。</p> <p><b>同種災害を防止するための対策例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路上の作業は行わないこと。止むを得ず道路上で作業する場合は、後方から来る自動車に注意喚起するための措置を講ずること。</li> </ul>		交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク
3	3月	土木建設業	男性	建設作業員	50代	<p>土留め支保工の組み立て中に、作業員Aが、鉄骨 上でレバブロックで移動させていたところ、ブラケットから外れ、鉄骨 とAが落下した。その際、下の鉄骨 上で作業をしていた作業員Bが鉄骨 の下敷きになったもの。(Aは重傷)</p> <p><b>同種災害を防止するための対策例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土止め支保工の組立て作業手順を定めて作業を行うこと。</li> <li>上下作業を避けること。</li> </ul>		飛来、落下	支保工
4	3月	土木建設業	男性	建設作業員	20代	<p>作業員4人が川の右岸から左岸へボートで渡って作業していたところ、天候が悪化したため右岸に戻ることとなった。ロープを張り、ボートに乗ってロープを伝って渡っていたところ、ボートが傾いて4人も川に投げ出された。3人はすぐに救出されたが、被災者は約300m下流に流された。</p> <p><b>同種災害を防止するための対策例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボートで川を渡る際はライフジャケットを着用すること。</li> <li>ロープを流れに垂直ではなく下流に向かうよう(図の右上から左下方向)に張ること。</li> </ul>		交通事故(その他)	その他の乗物
5	5月	一般貨物自動車運送業	男性	貨物自動車運転者	30代	<p>建設現場に長さ約10メートル、重量約3トンのH型鋼材を搬入中、クレーンでつり上げていたH型鋼材が、トラックに積んでいた別のH型鋼材に引っかかり、引っ掛けられたH型鋼材が荷台脇にいた被災者の上に落下した。</p> <p><b>同種災害を防止するための対策例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>玉掛け作業員以外の者はクレーンの旋回範囲に立ち入らないこと。</li> <li>玉掛け作業員は、つり上げている荷の状況を確認し、他の荷と触れることによる危険を防止すること。</li> </ul>		飛来、落下	移動式クレーン

# 令和6年の死亡災害発生状況(速報)

令和6年9月30日現在

事故の型： 飛来、落下3人、交通事故(道路) 3人、崩壊、倒壊1人、交通事故(その他)1人

6	6月	一般貨物自動車運送業	男性	貨物自動車運転者	50代	<p>大型トラック(最大積載量8.6トン)で荷物を搬送中、国道の下り左カーブで中央線をはみ出し、対向してきた大型トラック(最大積載量13.8トン)と衝突した。(相手方のトラック運転者も死亡した。)</p> <p>当該区間は対向車線が2車線、被災者側が1車線であり、被災者側の車線は中央線をはみ出し禁止を示すオレンジ色の表示であり、現場の手前にはみ出し禁止を示す標識があった。</p> <p><b>同種災害を防止するための対策例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路交通法で定められた規制に従い走行すること。</li> </ul>		交通事故(道路)	トラック
7	6月	その他の建設業	男性	作業者	50代	<p>工場内の鋼製棚を解体する作業中に、別の作業者がつなぎ材をクレーンで吊って支えながらつなぎ材のボルトを外したところ、間柱が倒れ、付近にいた被災者を直撃した。</p> <p><b>同種災害を防止するための対策例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解体作業手順を全作業員で確認すること。</li> <li>・解体した部材が倒れる等により危険が及ぶ範囲への作業員の立入りを禁止すること。</li> </ul>		崩壊、倒壊	その他の装置、設備
8	8月	その他の金属製品製造業	男性	作業者	20代	<p>研削機械の砥石を交換して、覆いなどの調整を行い、鋳物の不要部分を研削していたところ、砥石(直径50cm、幅5cm)が破裂し、研削作業をしていた作業者が吹き飛ばされた。</p> <p><b>同種災害を防止するための対策例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交換する砥石に異常がないか確認し、交換後は試運転を実施してから使用すること。</li> <li>・研削砥石の取替え、試運転を行う作業員には、特別教育を実施すること。</li> </ul>		飛来、落下	研削盤、バフ盤